

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果（富士見市）

調査目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査結果（小学校）

(単位%)

国 語		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		66	68	66.8
学習指導要領の内容別平均正答率	言葉の特徴や使い方に関する事項	74.0	77.5	76.9
	情報の扱い方	64.4	64.8	63.1
	我が国の言語文化	79.4	81.5	81.2
	話すこと・聞くこと	65.7	67.3	66.3
	書くこと	70.3	71.1	69.5
	読むこと	56.4	58.4	57.5

算 数		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		56	58	58.0
学習指導要領の内容別平均正答率	数と計算	60.8	63.1	62.3
	図形	53.2	54.7	56.2
	測定	51.9	53.9	54.8
	変化と関係	56.6	57.9	57.5
	データの活用	61.1	63.4	62.6

理 科		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		56	58	57.1
学習指導要領の内容別平均正答率	エネルギー	45.4	46.6	46.7
	粒子	51.2	52.7	51.4
	生命	48.6	53.1	52.0
	地球	65.8	67.7	66.7

※ 富士見市の値が全国値以上：太字

調査結果（中学校）

(単位%)

国 語		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		55	55	54.3
学習指導要領の 内容別平均正答率	言葉の特徴や使い方に関する事項	47.4	48.5	48.1
	話すこと・聞くこと	54.0	54.3	53.2
	書くこと	53.0	53.7	52.8
	読むこと	63.7	63.6	62.3

数 学		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均正答率		51	50	48.3
学習指導要領の 内容別平均正答率	数と式	45.8	45.0	43.5
	図形	51.2	48.7	46.5
	関数	49.7	48.8	48.2
	データの活用	59.4	60.2	58.6

(単位 IRT スコア)

理 科		富士見市	埼玉県	全国(公立)
平均 IRT スコア※1		497	502	503
学習指導要領の 内容別平均正答率 ※2	エネルギー	58.0	56.9	56.1
	粒子	59.4	61.7	61.7
	生命	39.7	43.7	44.8
	地球	37.8	36.7	37.3

※1 IRT (Item Response Theory : 項目反応理論) スコア…各設問の正誤パターンの状況をもとに、学力を500を基準にした得点で表すもの。

※2 調査を受けた生徒の総数による算出ではなく、公開問題を回答した生徒の平均正答率。
 ※ 富士見市の値が全国値以上：太字

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果分析



小学校国語

問題文（全文）は国立教育政策研究所ホームページで公開されています
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

富士見市の現状

- 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるかどうかなど、「書くこと」に関する問題の正答率が高くなっています。
- 事実と感想、意見などの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することや、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができるかどうか、「読むこと」に関する問題に課題があります。

【課題がみられた問題①】3-2(2) 正答率 52.3%

4 3 2 1 時代とともに言葉の意味が変わることもある。時代によってもの呼び方がちがう。
世代によって言葉の使い方は変わらない。

（正答） 1 イ
どうせ ↓ どうしても、とうてい ↓ 非常に
（室町時代） （大正時代より前） （今）
【木村さんのメモ】※「とても」の意味について
とてもできる?できない?
【問い合わせ】木村さんのメモの【資料3】を読み、次の1から4までのなかから一つ選んで、その番号を書きましょう。

【誤答例】3 「とても」を時代共通の語句と捉えられていない

【課題がみられた問題②】3-3(1) 正答率 40.3%

4 3 2 1 この本を読むと気づくとおもいますが
「言葉は生きている」とも言われています。
「元々の意味」元々とは違う使い方」と言った言い方
にどめています。
コミュニケーションの使い方をそのままにしておく
わけにもいきません。

（正答） 3 田中さん
A
かれているとおりだと思うよ。
A
こんなふうに、人によって言葉の意味の
ところがちがうと、伝え合ってときに困る
と思うよ。だから、「A」と書

（%） 「雨模様」の意味のとらえ方
16-19さい 20代 30代 40代 50代 60代 70さい以上
▲ 雨が降りそな様子 ■ 小雨が降ったりやんだりしている様子
（文化庁『令和4年度国語に関する世論調査』による。）

【課題解決に向けて①】

- 事実と感想、意見などの関係を叙述に基づいて押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力を身に付けましょう。
- ・「～しています。」や「～だと思います。」というように、語尾の表現に気を付けることで、事実と感想、意見を区別して読み取ることができるようになります。
- ・文章全体の構成を捉えるために、導入、展開、結論といった構成要素がそれぞれ何を伝えようとしているのかを理解することが大切です。

【課題解決に向けて②】

- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける力を身に付けましょう。
- ・何を知るためにこの文章と図表を読むのか、目的を明確にし、文章と図表の関連性を理解することが大切です。
- ・文章と図表を相互に関連付けて読み解くことで、より深く情報を理解することが大切です。

図表のタイトルや軸ラベルなどを確認し、どのような情報が示されているかしっかりと理解することが大切だね。



令和7年度 全国学力・学習状況調査結果分析



小学校算数

問題文（全文）は国立教育政策研究所ホームページで公開されています
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

富士見市の現状

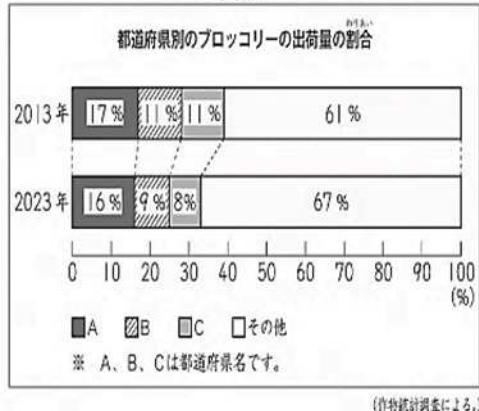
- 簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶ問題や、小数の加法において数の相対的な大きさを用いて共通する単位を捉える問題の正答率が高い傾向が見られます。
- 「計算のきまり」をもとにして計算したり、その場合の答えの求め方を式や言葉で説明したりすることに課題があります。

【課題がみられた問題① 1-(2)】正答率24.7%

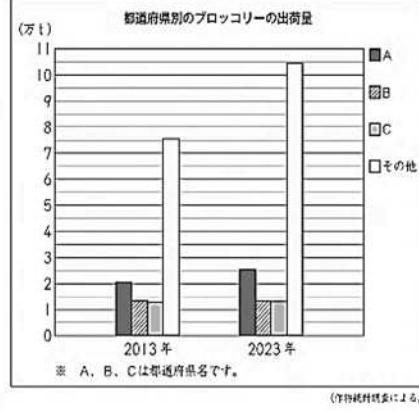
自分たちが住んでいる都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうか、グラフ2とグラフ3どちらかを見れば分かります。

下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかがわかるようにしましょう。

グラフ2



グラフ3



【正答例】

ア 2023年は2013年より増えた。

イ 2023年は2013年より減った。

記号
わけ

ア (グラフ3から読み取る)

グラフ3を見ると、2013年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量は約2万t、2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量は約2.5万tで2023年のほうが多いです。だから、都道府県Aのブロッコリーの出荷量は増えています。

【課題解決に向けて】

- 様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて適切なグラフを選択できるようになることが大切です。

- ・何をわかりやすく伝えるためにどんなグラフを使っているのかに着目し、それぞれのグラフの特徴をとらえるようにしましょう。

- 〔例〕
- ・棒グラフ…数量の大小を棒の高低で表す。数量の大小の比較に適している。
 - ・帯グラフ…複数のデータの内訳割合を項目ごとに比較するときに適している。
 - ・円グラフ…一つのデータの中で内訳割合を比較するときに適している。 等



グラフは、社会科、理科、家庭科など、様々な学習場面で活用されています。日常生活でもよく目にすることがあるので、そのグラフを使って何をわかりやすく伝えようとしているのか考えてみましょう。

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果分析



中学校国語

問題文（全文）は国立教育政策研究所ホームページで公開されています

<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

富士見市の現状

- 「目的に応じて、相手に伝えたいことを選択する問題」や「文章の標記の誤りを正しく修正する問題」の正答率は高い傾向が見られます。
- 「内容のまとめを意識して文章の構成を考える問題」や「根拠を明確にして、文章を作成する問題」の正答率は低い傾向が見られます。

【課題がみられた問題（抜粋）】

1—三 正答率 60.7%

【ちらし】（更新版①）

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。
体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのベン立てをつくることができます。

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時
場 所 第一中学校 体育館
会場図

受付 1年生の作品（水彩画） 2年生の作品（ポスター）
出入口 体験コーナー（ベン立てづくり） 3年生の作品（彫刻）

体験できる時間（各回30分間）
①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～
中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのベン立てをつくることができます。

三 中井さんは、【ちらし】（更新版①）のように、——線の部分を削除して の中に書き加えました。その意図を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのなかから1つ選びなさい。

- 1 具体例を示したあとに要点を示すことで、中心となる情報に対する読み手の理解を深めようとした。
- 2 伝えるべき事柄に見出しを付けることで、読み手に速やかに情報を伝えようとした。
- 3 情報を示す位置を整理することで、関連する情報を読み手がまとめて得られるようにした。
- 4 時間の流れに沿って情報を示すことで、読み手が必要とする情報を見付けやすくした。

【正答】 3

※書き加える前の

体験できる時間（各回30分間）
①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～

【課題解決に向けて】

◎内容のまとめを意識して、文章の構成を考えよう。

- ・この問題では、「体験コーナー」でできることを体験できる時間と合わせて示すことで、「体験コーナー」に関連する内容のまとめを意識して文章の構成を考えることが大切です。
- ・行事等を案内する文章には、行事名、日時、場所、内容などのほか、参加してほしいといったお願いなど、必要な情報を漏れなく書く必要があります。
- ・その時に、生徒が相手や目的に応じて伝えるべき事柄を選択したり再構成したりして、簡潔に分かりやすく書くことができるようになります。



読み手に伝えたい目的によっては、選択肢1・2・4のような意図で構成や展開を検討する場合もあるよ。

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果分析



中学校数学

問題文（全文）は国立教育政策研究所ホームページで公開されています
<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

富士見市の現状

- 証明された事柄を基にして、新たに辺や角の関係を見い出す問題の正答率は、高い傾向が見られます。
- 式の意味を読み取り、数学的な表現を用いて説明することに課題があります。

【課題がみられた問題 6—(2)】正答率 26.9%

結菜さんと太一さんは、3、6や12、15のような連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べるために、次の計算をしました。

3、 6 のとき	$3 + 6 = 9$
12、 15 のとき	$12 + 15 = 27$
30、 33 のとき	$30 + 33 = 63$

(2) 連続する2つの3の倍数の和は、9の倍数になるとは限らないと気づいた二人は、連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べることにしました。

そこで、二人は、 n を整数として、連続する2つの3の倍数を $3n$ 、 $3n+3$ と表してそれらの話を計算し、それぞれ次のように式を変形しました。

結菜さんの式の変形

$$\begin{aligned} & 3n + (3n+3) \\ &= 3n + 3n + 3 \\ &= 6n + 3 \\ &= 3(2n + 1) \end{aligned}$$

太一さんの式の変形

$$\begin{aligned} & 3n + (3n+3) \\ &= 3n + 3n + 3 \\ &= 6n + 3 \\ &= 2(3n + 1) + 1 \end{aligned}$$

結菜さんの式の変形の $3(2n + 1)$ から、「連続する2つの3の倍数の和は、3の倍数である」ことがわかります。

太一さんの式の変形の $2(3n + 1) + 1$ から、連続する2つの3の倍数の和は、どんな数であるといえますか。「～は、…である。」という形で書きなさい。

【正答例】連続する2つの3の倍数の和は、奇数である。

【課題解決に向けて】

- n を整数としたときに、2の倍数や3の倍数、奇数や偶数を表現できるようにすることが大切です。
- 文字を用いた式を正確に計算するだけでなく、その文字の式にどんな意味があるのかも含めて学習することが大切です。
- 普段の学習から考察する場面では、数や式がもつ意味を捉え、数学的な表現を用いて説明することを大切にしましょう。



成り立つと予想される事柄や事実を見いだしして、「○○ならば、◇◇になる。」のように、論理的に考えを進めることが大切だね。



質問紙調査

9割以上の児童生徒が肯定的に回答した項目 (◎ 9割以上で全国よりも高い ○ 9割以上)

小学校	中学校
○朝食を毎日食べていますか	○朝食を毎日食べていますか
○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
◎先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	◎先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
○人が困っているときは、進んで助けていますか	○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	○人の役に立つ人間になりたいと思いますか
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか	○友達関係に満足していますか
◎友達関係に満足していますか	○あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか
○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	○授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
○授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	◎算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか
◎算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	◎理科の授業の内容はよく分かりますか
◎理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	◎理科の授業では、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか
◎理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	◎道徳の授業では、自分の考え方を深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

児童生徒の回答で課題となっている項目

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> ・分からぬことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか ・地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事は除く） 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか ・理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか ・理科の授業では、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てていますか

課題解決に向けて

- ・生活の中で何気ないことなどについて興味をもったときに、そのことについて調べたり、積極的に関わったりするようにしましょう。
- ・生活の中で課題があるときに、「どのように」「いつ」「どうやって」解決するのか計画を立てて取組み、課題を「なぜ解決できた（できなかった）」のか振り返りましょう。